



No. **137**  
 発行者 沼津市商工会  
 会長 渡邊好孝  
 〈本所・原支所〉沼津市原1200番地の1  
 TEL(055)966-1331 FAX (055)967-4925  
 〈戸田支所〉沼津市戸田1028番地の5  
 TEL(0558)94-2224 FAX (0558)94-4029  
 編集 沼津市商工会広報委員会

**はら逸品うまいものフェス(11/10)**  
 会場入口のにぎわい(2面詳細)

**大盛況!**  
 秋の一大イベントに定着



沼津市立戸田小中一貫学校  
 校長 梶原 利彦

本校は、小中一貫学校となり4年目を迎えました。戸田小・戸田中の時代より、地域と連携した学校行事や、児童生徒が参加する地域行事が数多くあり、地域密着型の学校です。地域の皆様は、子供たちを『戸田の宝』と呼び、「子供たちのためなら」と教育活動への協力を惜しまず、愛情を注いでくださいます。学校にとって、これほど力強い応援団はありません。感謝の気持ちでいっぱいです。

現在、沼津市すべての中学校区にコミュニティ・スクールが導入され、「地域とともにある学校」を目指していますが、学校は、「どのような子供たちを育てていくのか」、「何を實現していくのか」という目標やビジョンを地域の



「戸田の宝」のために

皆様と共有し、地域と一体となって子供たちを育んでいく使命を帯びています。そして、学校を核とした地域づくり「地方創生」の役割も担っています。その点、戸田地区は、地方創生の考えは強く、同時に子供たちのローカル・アイデンティティの確立「戸田を愛する子供を育てたい」、「伝統、文化を継承したい」という願いも強いことから、本校では「志をもち、ふるさとかから未来をつくる人」という教育目標を掲げています。この教育目標を具現化するために、地域にある貴重な教育的財産を有効活用していく「戸田大志学習」を柱に、他校との連携も深めながら、子供たちに「社会性」「自己有用感」などを育む教育活動を進めています。

私は、戸田地区とのご縁を感じながら、子供たち、地域のために、精進していく所存です。商工会をはじめとした地域の皆様、大変お世話をおかけしますが、今後ともご支援の程よろしくお願いいたします。

大盛況はら逸品  
況うまいものフェス

11月10日、原地区センター広場で第8回はら逸品うまいものフェスが開催されました。地元「うまいもの」をPRすることを目的としたイベントとして、商工会員のお店を中心に約30店舗の飲食店が軒を連ねました。

また、コストFMの公開生放送をはじめ、静岡アイドルno Filterやシンガーソングライター詩音さんによるステージ、RACING PROJECT BAN DOH様によるイベント、スマートフエンシング体験、消防車やスポーツカーの展示、赤十字と明治安田生命によるブース、日大生による事例発表と多様な内容となりました。

懸念されていた天気も終盤まで保ち、約4,000人の来場者がイベントを楽しましました。



コストFM公開生放送

女性部地域発見事業

11月24日、原にあるお寺を訪れ、歴史文化にふれる事業(第3弾)を「昌原寺」と「徳源寺」にて行いました。

昌原寺では、ご住職と原浮島観光ボランティアガイドの会所属の望月宏充氏より白隠禅師が仏門に入るきっかけや寺にまつわる歴史について簡潔にお話しをいただき、徳源寺ではご住職より興国寺城の陣屋として、本籍には「御殿場」という地名が残っていること、有徳家植松本家の菩提寺であるため、帯笑園から貴重な名品を譲りうけ保管していることなどをお話しいただきました。



昌原寺

徳源寺

**原地域の歴史について**  
**原の寺**  
海岸山大通寺(本松)  
宗派 曹洞宗  
金子強志 住職  
本山 永平寺(福井県)  
本山 総持寺(神奈川県)  
本尊 釈迦牟尼仏  
開山 紹外舜隆和尚  
大通寺は付近一帯の新田開発の為、やって来た開拓者の集落が形成された江戸初期に井出大泉寺五世紹外舜隆和尚(寛文二年一六六二)四月三十日示寂)を開山に招聘し寺を開いた。

幕末には寺内の角に徳川藩士が寺子屋を開き、それを基に明治六年三新田初の教育施設「初学舎」が出来た。初学舎は明治十三年に「格物小学校」と改名、明治十九年には原宿に有る「三事舎(原宿)又新館」と大塚町「始進舎」が明治九年に合併)と合併し尋常小学袖浦学校が誕生、翌年原尋常小学校と改名し、ここに現在の沼津市立原小学校に繋がる礎が築かれた。「スルガ銀行」創始者岡野喜太郎翁も幼少期初学舎で学んだ。門前に

お詫びと訂正 (訂正) ウイニング第136号2ページ下段、14行目「誤」 「子安観音」(正) 「子安地蔵」に訂正させていただきます。



大通寺(だいつうじ)

望月 宏充 (原ルネッサンスの会顧問)

静岡銀行 原町支店  
SHIZUOKA BANK  
〒410-0312 沼津市原195番地の8  
TEL(055)966-1010 FAX(055)966-8309

沼津信用金庫 原支店  
沼津市原町中3-13-23 TEL(055)967-6567  
ホームページ・アドレス http://www.numashin.co.jp/

ローンの御相談はさんしんへ  
三島信用金庫 原町支店  
〒410-0312 沼津市原195番地の6 TEL(055)966-1511

JAふじ伊豆 原支店  
〒410-0312 沼津市原349-3  
TEL(055)966-0600 FAX(055)966-0722

戸田支所合同視察研修  
「マスコミキャラバン」実施

10月17日～18日に、戸田支所合同視察研修として、マスコミキャラバンを行いました。

今年度も、静岡県東京事務所、観光経済新聞社、静岡県移住相談センター（いずれも東京都内）を訪問し、戸田の秋・冬のイベントや、改修を終えた松城邸などの観光情報をPRしました。また、観光や移住の最新動向についても情報交換を行いました。

今年開業した豊洲の商業施設「千客万来」へも訪れ、外国人観光客で賑わう様子を見学しました。



観光経済新聞社を訪問

戸田さんさんまつり



多くのお客様で賑わう会場

11月4日に、毎年恒例の戸田さんさんまつりを開催しました。

今回は、戸田地区内外より20店舗が集結しました。戸田地区内の特産品はもちろん、友好市町である埼玉県戸田市、山梨県忍野村、長野県原村の特産品は、毎年心待ちにしているお客様が多く、イベントの目玉のひとつです。

また、商工会女性部のつくる「へだト口はんぺん」は今年も長蛇の列ができる人気ぶ

りで、販売開始からわずか30分で売り切れとなってしまいました。

司会を務めたのは、沼津ラクーンよしもと劇場の富士彦さん。「深海魚〇×クイズ」やゲームコーナーは、会場のお客様を巻き込んだ楽しい時間となりました。

また、シンガールの太田克樹さんも有名なCMソング「思い出の交差点」などを披露し、歌でイベントを盛り上げてくれました。

イベントの開催にあたり、関係する皆様より多大なるご協力をいただき、御礼申し上げます。



イベントのフィナーレ・投げもち

合同空き缶拾い実施

11月14日に、戸田支所女性部が中心となり、合同空き缶拾い（清掃活動）を行いました。

商工会役員、青年部、法人会戸田支部の協力のもと、戸田峠と真城峠周辺の山道のごみを拾い、拾ったごみの量はごみ袋で45個分になりました。今回は安全に配慮して、道路のすぐそばのごみを集中的に拾っていました。しかし、林の奥に目をやると大量のごみ（なかには粗大ごみも...）があり、悔しい気持ちになりながらの作業でした。



ごみを集める女性部のメンバー

西伊豆へだたん  
海のはてる **いさば**  
7日海産物語

〒410-3402  
沼津市戸田美浜海岸3878-20  
TEL 0558-94-3048(代)  
URL <http://www.isaba.co.jp>

食中毒予防の決め手はあなたの手  
**沼津食品衛生協会 戸田支部**

事務局 沼津市商工会 戸田支所  
0558-94-2224

企業の繁栄と社会貢献  
**沼津法人会 三浦・戸田支部**  
支部長 成田八起

掛金に国の助成が受けられる!

**中退共**  
CHU-TAI-KYO  
中小企業退職金共済事業本部

- 国の制度だから安心
- 掛金は全額非課税
- 外部積立型で管理が簡単
- パートさんの加入もOK

詳しくはホームページをご覧ください。  
中退共 検索 <http://chutaiquo.taisyokukin.go.jp/>  
(独) 勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部  
TEL (03) 6907-1234 FAX (03) 5955-8211

新会員の紹介(敬称略)

事業所名(支所・支部名)

代表者名・業種

森下知則(東部)ー建設業

Porticcio(戸田)

山田直也ー飲食業

GS・89(浮島)

小林翔ー建設業

2025年度カレンダー完成

沼津市商工会広報委員会が発行する、2025年度カレンダーが完成いたしました。

今回は、地元小学校4校(原小学校・原東小学校・浮島小学校・戸田小中一貫学校)の児童・生徒の皆様から提供いただいた図画作品を掲載させていただきました。今年も力作ぞろいの素敵なカレンダーとなりましたので、ぜひお手にとってご覧ください。カレンダーは沼津市商工会原支所・戸田支所のほか、原・浮島・戸田の地区センターでも配布しております。数に限りがありますので、お早めにお早めに。



「原宿」への提言

10月28日(月)工業部会講演会が開催されました。北越

東洋ファイバー株式会社代表取締役社長の金川貴宣氏を招き、「東海道歩きなおし」ー街道ウォーカー目線からの原宿・沼津宿の課題ーと題して、地域の歴史的価値の再発見、街づくりを通じた提言がなされました。

講演では、まず原宿について問屋場跡など宿場町の歴史を示す資料を配布して説明しました。続いて「東海道歩きなおし」で感じた中で、訪問者だけではなく地域住民が街道の魅力を感じられる例として、土山宿、二川宿、藤川宿の取組が紹介されました。

原宿と沼津宿における改善点として、原宿は歩道が狭く安全性を向上させる必要があるとしてバリアフリーやトイレの不足など歩行者目線の街づくりの提言がありました。また、沼津宿では歴史情報が不足している点を指摘し、ケールボックスの裏面を活用した案内板の設置を提案され

ました。

その他、地域振興の一環として、スタンプリリーや歴史を学ぶイベントが提案され、歌川広重の浮世絵をデザインしたマンホールなど地域文化の魅力を伝えるためのアイデアが出されました。

最後に、NPO法人歴史の道東海道宿駅会議が主催する「東海道シンポジウム」について説明し、原宿の開宿40周年となる2033年に向け、沼津宿と合同でシンポジウム開催を目指してはどうかと提案されました。江戸時代の日本の大動脈である東海道の宿場町の1つであったという価値を今こそ磨きなおし、後世に残すべきと締めくくられました。

指導員だより

対話と傾聴

11月、中小企業大学校で「相談業務のスキル向上」をテーマにした研修を受講する機会がありました。5日間の研修では、様々な分析手法や事業計画の策定方法など、実践的なスキルを学びました。

この研修の直前までは、本会の経営発達支援計画の策定業務に追われていました。この計画は、本会が地域の小規模事業者に向けた5ヶ年の支援の方向性を示すもので、国から認定を受けることで、その実施に補助金が活用できるという仕組みです。

いずれも、『対話と傾聴』というキーワードが共通して求められています。対話を通じて事業者が抱える本質的な課題を見つけ、それに向き合う支援が求められています。そのためには、日々の相談業務において事業者の方々の話に耳を傾け、『聴く(≠聞く)』姿勢を持ち続けることが重要で、こうしたコミュニケーションの積み重ねにより真の『対話』が生まれるような支援を目指していきます。

指導員NK

1月の行事予定

- 12月27日(金) 13時~1月5日(日) 年末年始休館
- 1月20日(土) 年末調整(納期特例) 納付期限
- 1月28日(火) 沼津市商工会 創立15周年 記念講演会、会員交流会

福利厚生をお手伝いします!

さんさんゆうすい  
沼津市・清水町勤労者共済会  
TEL 055-924-1294  
(8:30~17:15 ※土日祝・年末年始を除く)

(公社)沼津法人会 原支部  
めざします企業の繁栄  
と社会への貢献